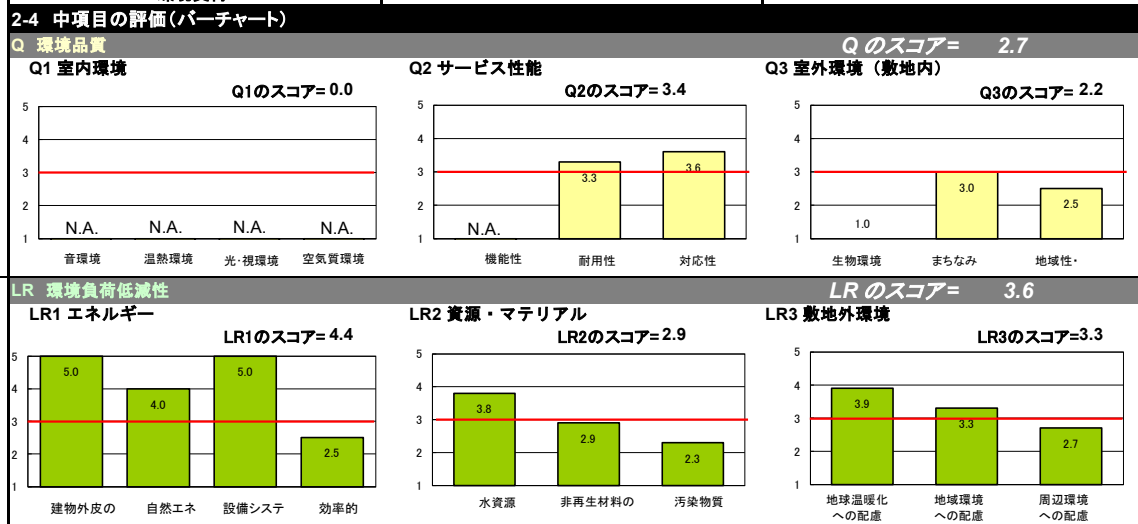
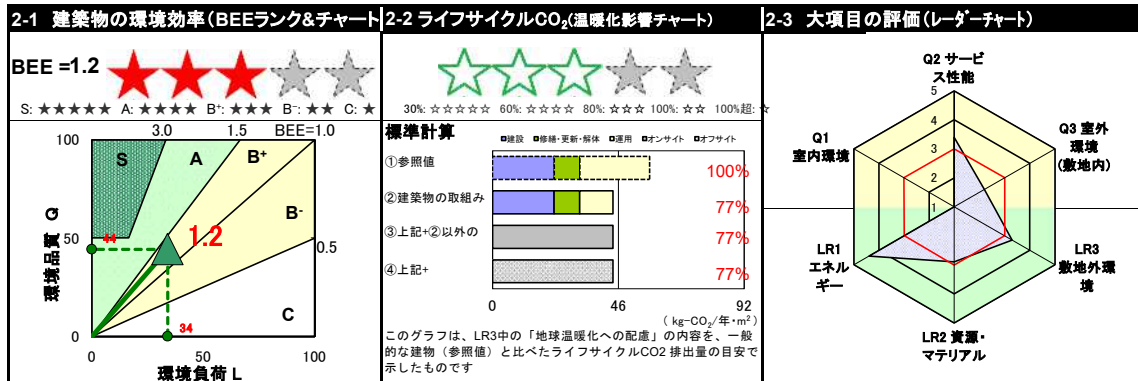


CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き I 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	〈仮称〉Landport東海大府Ⅱ	階数	地上4F
建設地	愛知県大府市共和町児子廻間4-10	構造	RC造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	865 人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年1月22日
敷地面積	62,427 m ²	作成者	長谷 恭典
建築面積	35,632 m ²	確認日	2025年1月22日
延床面積	132,048 m ²	確認者	岩治 洋



3 重点項目		
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化	
3.9	1.0	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) 0.0 % 建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %
②資源の有効活用	④地域材の活用	
3.2	1.0	<外装材に使用した地域性のある材料> なし <建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$ 建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$ 

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
(仮称)Landport東海大府 II

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体	
	重点項目		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質										2.7
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										3.0
1.3 吸音										3.0
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温										3.0
2 外皮性能										3.0
3 ゾーン別制御性										3.0
2.2 湿度制御										3.0
2.3 空調方式										3.0
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率										3.0
2 方位別開口										3.0
3 昼光利用設備										3.0
3.2 グレア対策										
1 昼光制御										5.0
3.3 照度										3.0
3.4 照明制御										3.0
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										3.0
4.2 換気										
1 換気量										3.0
2 自然換気性能										3.0
3 取り入れ外気への配慮										3.0
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										3.0
2 喫煙の制御										3.0
Q2 サービス性能										3.4
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性										3.0
2 高度情報通信設備対応										3.0
3 バリアフリー計画										3.0
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観 (天井高)										3.0
2 リフレッシュスペース										3.0
3 内装計画										3.0
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計										3.0
2 維持管理用機能の確保										
2 耐用性・信頼性										0.5 3.3 0.52 - - - 3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振										0.4 3.4 0.48
1 耐震性(建物のこわれにくさ)										3.0 3.0 0.80
2 免震・制震・制振性能										3.0 5.0 0.20
2.2 部品・部材の耐用年数										0.3 3.1 0.33
1 躯体材料の耐用年数										- 3.0 0.23
2 外壁仕上材の補修必要間隔										- 3.0 0.23
3 主要内装仕上材の更新必要間隔										- 3.0 0.09
4 空調換気ダクトの更新必要間隔										- 3.0 0.08
5 空調・給排水配管の更新必要間隔										- 4.0 0.15
6 主要設備機器の更新必要間隔										- 3.0 0.23
2.4 信頼性										0.1 3.4 0.19
1 空調・換気設備										3.0 4.0 0.20
2 給排水・衛生設備										3.0 4.0 0.20
3 電気設備										3.0 3.0 0.20
4 機械・配管支持方法										3.0 4.0 0.20
5 通信・情報設備										3.0 2.0 0.20

3 対応性・更新性			0.4	3.6	0.48	-	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり			-	5.0	0.60	-	-	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	5.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性			-	3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.57	-	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			独自③	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.5	0.30	-	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	-	0.40	-	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	断熱パネル(イソバンドt50mm)	3.0	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用			-	ナイトバーჯ、クールヒートトレンチ	3.0	4.0	0.10	-	4.0
3 設備システムの高効率化			-	BEI=0.48	3.0	5.0	0.50	-	5.0
4 効率的運用			-	-	0.2	2.5	0.20	-	2.5
集合住宅以外の評価			-	-	1.0	2.5	1.00	-	
4.1 モニタリング			-	BEMS	3.0	4.0	0.50	-	
4.2 運用管理体制			-	-	3.0	1.0	0.50	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	3.0	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	3.0	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	-	0.30	-	-	-	2.9
1 水資源保護			-	0.1	3.8	0.15	-	-	3.8
1.1 節水			-	3.0	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			-	0.6	3.6	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			-	3.0	4.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	3.0	3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			-	0.6	2.9	0.63	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			-	-	2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	-	3.0	0.25	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	3.0	0.21	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-	3.0	3.0	0.21	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	3.0	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自	3.0	3.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			-	0.2	2.3	0.22	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			-	3.0	3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			-	0.6	2.0	0.68	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			-	-	-	-	-	-	
3 冷媒			-	3.0	2.0	1.00	-	-	
LR3 敷地外環境			-	-	0.30	-	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率77%	-	3.9	0.33	-	3.9
2 地域環境への配慮			-	0.3	3.3	0.33	-	-	3.3
2.1 大気汚染防止			-	-	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			-	-	3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			-	0.2	2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			独自	-	3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			-	-	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			独自	-	3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			-	-	1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			-	0.3	2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	0.4	3.0	0.40	-	-	
1 騒音			独自	-	3.0	1.00	-	-	
2 振動			独自	-	-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			-	0.4	3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			-	-	3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			-	-	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			-	0.2	1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	-	1.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	-	3.0	0.30	-	-	

重点項目スコアシート
〔仮称〕Landport東海大府Ⅱ

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.9
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10	3.2
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	3.3	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.9	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア＝各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア＝

④地域材の活用

重点項目スコア＝評価ポイントの合計＋1

環境設計の配慮事項

■建物名称 (仮称)Landport東海大府Ⅱ

計画上の配慮事項	
総合	ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。
Q1 室内環境	評価対象外。
Q2 サービス性能	免震構造を使用している。 階高:3.9m以上 [壁長さ比率] < 0.1
Q3 室外環境(敷地内)	植栽により、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	特になし。
LR2 資源・マテリアル	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 雨水利用をしている。 雑排水等を利用している。 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。
LR3 敷地外環境	燃焼機器を使用していない。
その他	特になし。